



公立中学校の部活動における 休日の地域移行について



中学校部活動の現状

少子化が進展

- ・部員数が減少
(活動が小規模化)
(チーム編成が困難)
- ・教員(顧問)数減少

今後

将来にわたり中学生が
スポーツ・文化芸術活動に
継続して親しむことができる
環境づくりが必要

そのために、熊本県内では・・・ (熊本市を除く県内44市町村が対象。)

○令和5年度以降、市町村単位で地域移行に向けた検討が始まります。

(市町村間で連携する場合も考えられます。)

○今回の地域移行は休日の活動を対象とします。

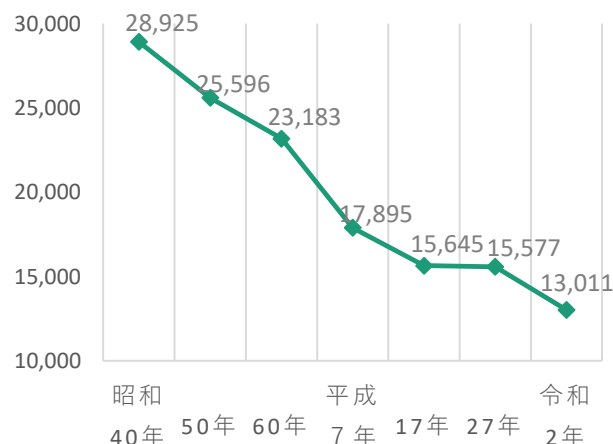
※地域の実態等により平日を含めた地域移行に取り組む場合も考えられます。

○令和5～7年度の3年間を改革推進期間として、重点的に取り組みます。

本県における少子化の影響

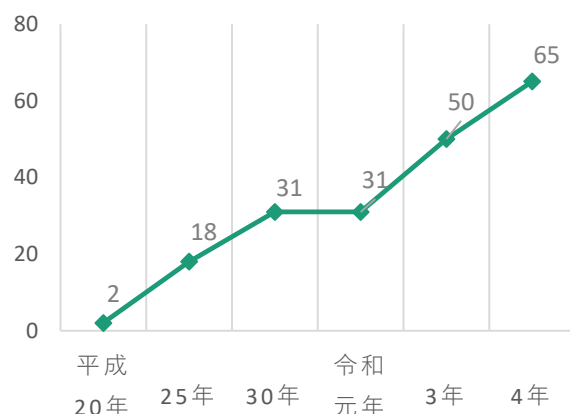
県内の出生数は減少傾向が続いており、今後も中学校生徒数の減少が想定されます。運動部活動においては、中体連主催大会に部員数不足のため単一校で参加できず、複数校合同チームで申請するチームも近年急激に増加しています。文化部活動においても、部員数不足により演奏活動等に影響が出ています。

【参考】出生数の推移(熊本市含む。)



出典：令和2年人口動態調査

【参考】複数校合同チーム申請数(熊本市含む。)



熊本県中学校体育連盟申請数集計より

中学校部活動に関するQ & A

Q 1) なぜ中学校部活動を地域移行する必要があるの？

少子化により部員数が減少し、活動の小規模化、チーム編成が困難になるなどの状況が生じます。今後も少子化の進展が予想され、持続可能性を考えると現在の部活動の形態を継続していくことは厳しい状況です。また、専門性や意思に関わらず、教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中、一層難しくなります。これらの点から中学校の部活動を地域移行することが必要です。

Q 2) 令和5年度から学校部活動はなくなるの？

なりません。地域によって地域移行する時期は異なりますが、休日の部活動の地域移行であるため、平日の学校部活動は当面の間は継続されます。

Q 3) 県内一斉に休日の活動が地域移行されるの？

県内一斉に地域移行するわけではありません。令和5年度から7年度までの3年間を改革推進期間として重点的に取り組んでいきますが、県内各市町村の実態等に応じて地域移行されていきます。

Q 4) 指導者や活動場所は学校部活動と異なるの？

地域移行が実施される市町村においては、平日の学校部活動は従来通りの指導者(教員、外部指導者等)が指導しますが、休日については地域指導者が指導します。活動場所については、学校体育施設や公共施設など学校とは別の施設を使用する場合もあり、それぞれの市町村の実態等に応じた様々なパターンが考えられます。

Q 5) 中体連主催の大会に地域クラブから参加できるの？

中体連主催大会については、令和5年度大会から中体連が競技毎に定める参加条件を満たせば、地域クラブとして大会参加が可能になります。詳しくは県中体連ホームページ等で御確認下さい。

※その他、休日の運動部活動地域移行に係る資料等については、熊本県教育委員会ホームページに掲載しています。 →→→

